

平成29年度行政評価 施策評価シート (平成28年度実績)

施策名 公共交通の充実

施策コード	060101
-------	--------

1. 施策の担当	
主管課	都市整備部 道路公園課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第6章 心地よく、くつろぎを感じるまちづくり (快適・憩い)	節 第1節 道路・交通
	施策	公共交通の充実	

基本方針
 ・市民ニーズに応じた交通手段の確保とその利便性の向上により、人や環境に優しい公共交通の充実を図ります。

現況と課題
 ・自動車交通への依存度が高い一方で、高齢化社会や環境面からも鉄道やバスなどの公共交通機関の重要性が見直されています。
 ・誰もが安心して自由に移動できるまちづくりを実現するために、事業者との連携のもとに、鉄道、路線バス、コミュニティバスなどによる公共交通のネットワークの充実が求められています。
 ・ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、高齢者や子ども、障害のある人をはじめ、すべての市民が安全に移動できる交通環境づくりの実現が求められています。
 ・コミュニティバスの利用者の多くが高齢者や障害のある人等の交通弱者です。そこでこのような交通弱者の方々のさらなる外出促進、公共施設の利用促進を通じた「まちの活性化」を目的とし平成27年10月より無料化を実施。
 ・泉佐野市を訪れる観光客が市内の観光地、商業施設を巡ることができる観光周遊バスを平成27年12月より無料運行。

施策目標
対象 (誰を、何を、どこを)
 市民
意図 (どのような状態にしたいのか)
 鉄道とバスの連携強化により、利便性の確保を図り、市民・利用者にとって、身近で使いやすい交通手段としてしていきます。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	41.8						
重要度 (偏差値)	45.9						

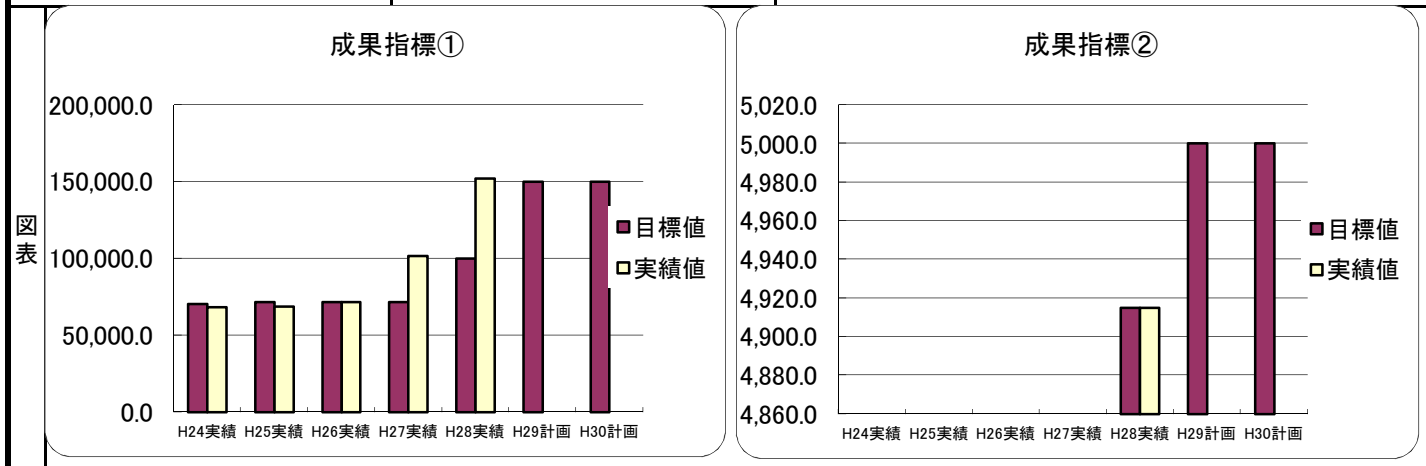
4. 施策にかかるコスト								
	単位	H27決算	H28決算					
コストの内訳	人件費	千円	1,022	1,026				
	事業費		36,945	39,636				
	フルコスト		37,967	40,662				
財源内訳	国庫支出金	千円	2,508	5,000				
	府支出金		0	0				
	市債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		35,459	35,662				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		34,437	34,636				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標1		コミュニティバスの年間利用者数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	70,200.0	71,500.0	71,500.0	71,500.0	100,000.0	150,000.0	150,000.0
実績値	68,266.0	68,463.0	71,655.0	101,593.0	151,978.0		
達成度	97.25	95.75	100.22	142.09	151.98		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
この人数が増えているかを把握することで、地域住民のニーズに合致した事業展開ができていくかが		運賃無料化により乗客数が増え、平成29年度目標は100,000人とした。			平成27年10月より運賃の無料化を実施したことにより大幅に利用客が増加した。		

わかる。

② 成果指標 2		観光周遊バスの年間利用者数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値					4,915.0	5,000.0	5,000.0
実績値					4,915.0		
達成度					100.0		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
平成27年12月より運行開始した観光周遊バスの年間利用者数を把握することにより、同バス事業が市内観光スポットを訪れる観光客の交通手段の利便性向上に寄与したか、測ることができる。	平成28年度実績を受け、平成29年度5000人と設定した。	



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	平成24年度に「泉佐野駅西口前」バス停を新設したため、利用者数が増加した。平成27年10月より運賃の無料化を実施したことにより更なる利用客の増加が図られた。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 1	満足度が平成19年度47.8から平成24年度41.8と低下した。運行地域の拡大、運行時間帯の拡大、双方向での運行等の要望がある。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	路線バスが廃止されたことによる、交通手段を奪われた交通弱者（障がい者、高齢者等）の移動手段を確保する。コミュニティバスの北回りに平成24年4月から「泉佐野駅西口前」バス停を新設した。平成27年10月より運賃の無料化を実施。
	合計点	(10点中) 8点	
	総合評価	B	市民生活に密着した交通手段として、また交通弱者の交通手段の確保、公共交通機関空白地域の解消を図る観点から、重要な役割を担っている。
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き目標値の達成に努めること。
三次評価 (理事者による評価)		B	ニーズ把握・利便性の向上に努めること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H28年度決算額			H29年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源			
1	01009700	コミュニティバス事業	513	39,073	34,073	44,858	B
2	01009710	路線バス運賃助成事業	513	563	563	2,149	B

合計		1,026	39,636	34,636	47,007	
----	--	-------	--------	--------	--------	--